

# News Release

2021 年 3 月 18 日

## HSBC アセットマネジメントと IFC 組成の新興国に投資する気候変動 対策関連ファンド、最終募集総額は 5 億 3,800 万米ドル

【ロンドン/ワシントン】HSBC アセットマネジメントと世界銀行グループの国際金融公社（IFC）は本日、**HSBC リアルエコノミー・グリーン・インベストメント・オポチュニティ GEM ボンド・ファンド（REGIO）**<sup>注1</sup>の最終募集が終了したことを発表しました。このファンドは気候変動への金融市場の取り組みへの参加を可能にし、グリーンボンド市場の一段の発展に貢献するものです。

REGIO は、新興国<sup>注2</sup>においてリアルエコノミー（実体経済）を担うセクターの発行体を対象に、気候変動緩和のための十分に多様化した投資を行う初めてのグリーンボンド・ファンドとして、欧州の2つの機関投資家の追加投資により、最終的に5億3,800万米ドル<sup>注3</sup>の投資を集めました。

REGIO は気候変動の最大の脅威に直面している市場に、気候変動を緩和する能力を確立していくために公的資本と民間資本の両方を活用します。ファンドの目的は、気候変動への金融市場の取り組みを一段と進展させ、より広範な発行体を通じて持続可能な資本市場の発展を促進し、気候変動の脅威にさらされている経済圏が低炭素社会に移行していく支援を行うことにあります。

このファンドは2019年に募集開始が発表され、HSBCとIFCがアンカー投資家としてそれぞれ7,500万米ドルを拠出しました。現在は全体で10の投資家が参加しています。REGIOは、革新的で多様性のある投資ビークルを投資家に提供し、気候変動に対応する投資への需要に応えることを目的としています。対象とする投資家は個別のグリーンボンドへの投資が難しい投資家、あるいは現行の新興市場国への債券投資を環境に配慮する債券投資で補完したいと考えている投資家です。

IFCのシニア・バイス・プレジデントのステファニー・フォン・フリードバーグ（Stephanie von Friedeburg）は「グリーンボンドへの投資は気候変動対策としてだけでなく、持続的な環境改善への道を切り開くものです」と述べ、さらに「REGIOの最終募集総額は、IFCが革新やパートナーシップ、新興国市場全般でのインパクト投資に真摯に取り組む姿勢を反映するものであり、また低炭素経済への移行に継続的に関与していく資本市場のあり方を示すものです」としています。

HSBC アセットマネジメントでCEOを務めるニコラ・モロー（Nicolas Moreau）は「経済構造の持続的移行を支援する必要性を強調することが、かつてないほど重要になっています。気候変動は私

# News Release

たちの人生における大きなリスクであり、感染症が世界的に流行する中でも REGIO に今回ほどの規模の資本が集まったことは、気候変動への対応が投資家にとってどれほど重要なかを物語っています。投資家の皆さまに心より感謝します」と述べています。

また「HSBC アセットマネジメントは世界と新興国市場とを長年にわたり結びつけてきました。そして新興国市場は急速に拡大する気候変動の影響を克服しなければならないという大きな課題に直面しています。投資家として私たちがそれらの国々に今日の段階で投資することは、明日への好機を創り出すことであると確信しています。また公的機関や民間機関との共同の取り組みを通じて、持続性に関わるグローバルな課題の解決策を見出しながら投資機会を生み出すことができるのです」としています。

ファンドの最終募集に参加した投資家には、民間セクター金融に専門的に取り組むフランス開発庁（AFD）の子会社の PROPARCO（フランス海外経済協力振興会社）、国家開発機関のイタリア預託貸付公庫（CDP）といったファンド組成時からのパートナーであり中心的投資家だった機関が含まれます。

**PROPARCO（フランス海外経済協力振興会社）のグレゴリー・クレマン（Grégory Clemente）CEO** は「今回の投資は気候変動への対応やエネルギー転換の加速に民間資金を動員するという私たちの取り組みを確約するものです。この革新的なプロジェクトはOECD各国からの金融資本の道筋を再構成して新興国市場のグリーンプロジェクトに向かわせることに貢献します。**PROPARCO** のような機関が参加することで気候変動の影響を地政学的に受けている新興国市場への関心が比較的低い投資家にも訴求することもできます」と述べています。

**イタリア預託貸付公庫（CDP）の次長兼チーフ・ビジネスオフィサーのパオロ・カルカニーニ（Paolo Calcagnini）** は「グリーンボンド・ファンドの REGIO に参加し、その成功に貢献したことを大変嬉しく思います。今回の投資は CDP として、気候変動対策と、新興国市場のグリーンファイナンスと資本市場の成長を目指す取り組みを支援することを改めて確認するものです。他の投資家とも協力して、金融資本の流れの再構成にさらに貢献し、民間セクターの資本を一体化して金融を革新し、国連が掲げている持続可能な開発目標（SDGs）を追求していく所存です」と述べています。

ファンドに投資している投資家は、いずれも保険会社のフランスの AVIVA フランスとカーディフ生命保険、ゴータ保険グループのゴータ・アセット・マネジメント、デンマーク教職員年金基金の Lærernes Pension、ドイツのプロテスタント教会とディアコニア事業体の年金信託基金の Verka VK Kirchliche Vorsorge、同じくドイツの公的年金基金の Versorgungswerk der Apothekerkammer Westfalen-Lippe などです。

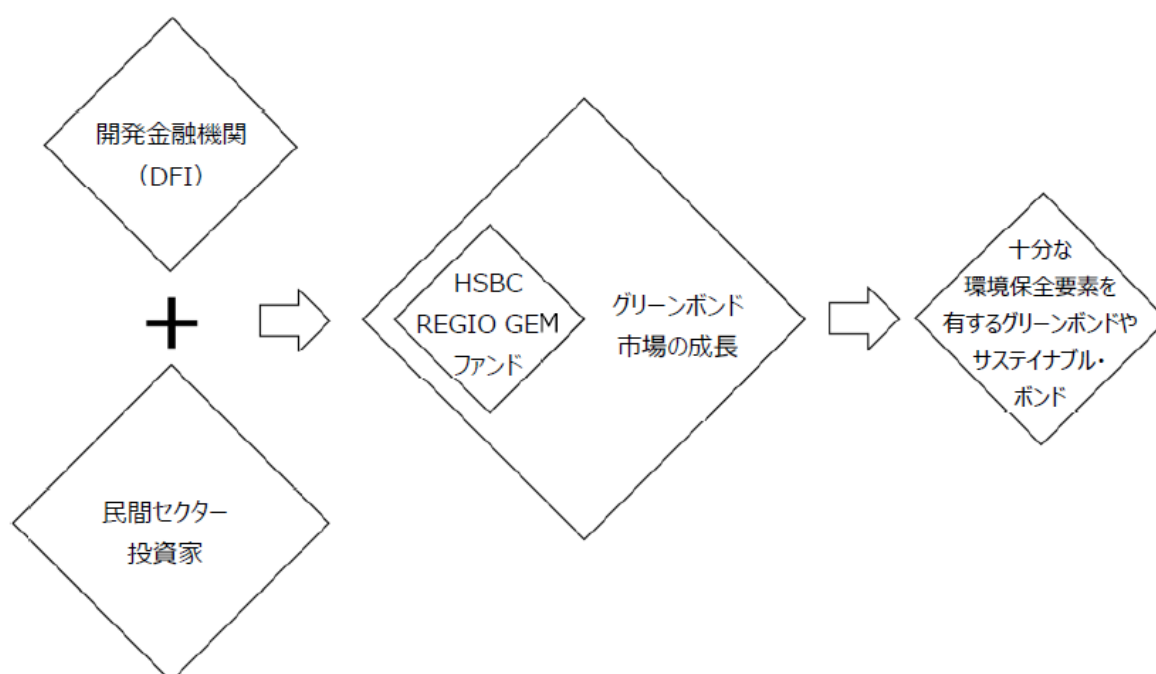
# News Release

REGIO の投資判断の基準の詳細については HSBC アセットマネジメントの「グリーン・インパクト・インベストメント・ガイドライン」に示しています。このガイドラインには、投資対象としての適格性を有するプロジェクトおよび事業活動について投資インパクトに沿って記されているほか、資産クラス全体にわたる HSBC アセットマネジメントの環境インパクト投資の戦略のフレームワークが示されています。このフレームワークの狙いは投資の可能性がある発行体に対して、REGIO が求めるグリーンボンドの適格基準を満たしているかどうかを判断するためのものです。このフレームワークは SDGs および達成目標、指標に沿っており、パリ協定のファイナンス目標達成に直接貢献するものです。

## 注記:

注 1) REGIO ファンドはブレンドファイナンスとしての目的を有しています。投資家が目標とする投資リターンを確保することおよび地球温暖化対策の枠組みを取り決めたパリ協定と国連の持続可能な開発目標（SDGs）の下で実体経済にインパクトを与える投資機会を提供することを目的としています。

実体経済 - ある国の経済において財やサービスを生産する経済活動を指し、銀行や証券市場といった金融サービスを含まないものを指します。



出所：HSBC アセットマネジメント

# News Release

## 注 2) 地域別投資割合 (%) \*

|        |       |
|--------|-------|
| ブラジル   | 16.76 |
| インド    | 15.27 |
| 中国     | 14.18 |
| メキシコ   | 10.93 |
| コロンビア  | 8.53  |
| チリ     | 7.33  |
| ペルー    | 7.27  |
| インドネシア | 4.23  |
| トルコ    | 3.68  |
| パナマ    | 2.39  |
| その他    | 9.43  |

\*2021 年 2 月 26 日現在

## 注 3) 2021 年 1 月 29 日現在

### HSBC アセットマネジメント

HSBC 投信株式会社が属する HSBC アセットマネジメントは、個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBC グループにおける資産運用部門の総称です。HSBC アセットマネジメントは 25 の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。HSBC アセットマネジメント全体の運用資産は約 6,120 億米ドル（2020 年 12 月末現在）です。

### IFC（国際金融公社）

IFC（国際金融公社）は世界銀行の姉妹組織であり世界銀行グループに属する新興国市場の民間セクターに特化した世界最大の開発機関です。資本や知見を生かして世界約 100 ヶ国で事業に取り組み、開発途上国において市場や事業機会を創出する影響力を発揮しています。2020 年度には開発途上国に 220 億米ドル以上の長期資金を送り込み、民間セクターの能力を活用して極度の貧困を撲滅し繁栄の共有に取り組みました。詳しくは [www.ifc.org](http://www.ifc.org) をご覧ください。

以上